

# 子ども・若者支援のための 事例検討会



本研究所は、子ども・若者支援専門職に関する総合的な調査および研究を進め、「子ども・若者支援士」（仮称）の専門職化を目指すことを目的としています。

対象：子ども・若者  
支援関係団体・機関  
職員・スタッフ

日時：2018年 ①1月28日(日)

申し込み先着順  
3回受講できる方を優先します。

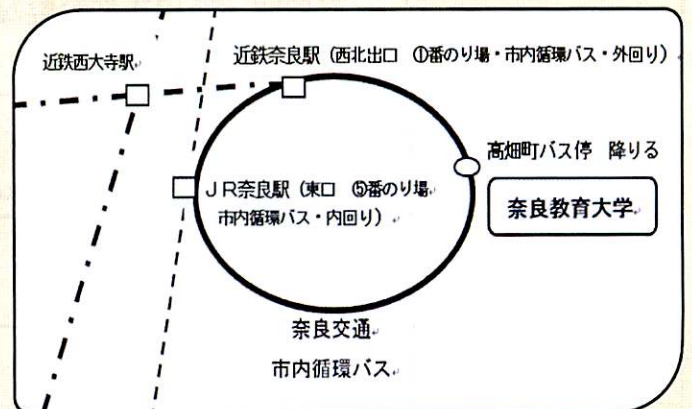
②3月4日(日) ③3月25日(日)

10:00～15:00 (休憩50分含む)

場所：奈良教育大学

次世代教員養成センター 1号館  
大会議室兼教室

奈良市 高畑町(番地なし)  
JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス  
市内循環「高畑町(奈良教育大学前)」下車  
出来るだけ、公共交通機関をご利用ください



主催：奈良教育大学 次世代教員養成センター ESD・課題探究教育部門 学校・地域教育支援領域

共催：子ども・若者支援専門職養成研究所(代表 生田周二 奈良教育大学)

問合せ先：奈良市高畑町(番地なし)奈良教育大学内 Mail: [sakurai-keiko@nara-edu.ac.jp](mailto:sakurai-keiko@nara-edu.ac.jp) FAX: 0742-27-9384

## ○研修のねらい

子ども・若者支援の枠組み(“第三の領域”、「子ども・若者自立モデル」と支援者のナレッジ(知識)、スキル(技術)、マインド(価値)について理解を深めます。また、事例検討を行うことにより、支援の視点、各団体・機関の持ち味・強みと課題、連携のあり方を考えあいます。そのことにより、支援の取り組みの言語化と支援者の専門性の向上を図ることを目指します。

- ① 自立支援と専門性について、「子ども・若者自立モデル」に基づいて理解を深める。
- ② 各自の事例の記述・報告を通して、支援の観点、支援者の専門性、連携のポイントなどについて考え合う。
- ③ 「子ども・若者自立モデル」に基づき、自分たちの支援の取り組み、立ち位置を共通言語で説明する。
- ④ 居場所とセルフエスティームの関係について理解を深め、どのようにセルフエスティームを高めると良いのか考え合う。
- ⑤ 発達障害について知り、意欲を高めるための手立てについて知り、スキルアップを図る。

時刻	研修内容		
	①1月28日(日)	②3月4日(日)	③3月25日(日)
10:00~11:00	“第三の領域” —ドイツの子ども・若者支援に学ぶ—	居場所とセルフ・エスティーム(自尊感情)	自分自身のセルフエスティームについて考える
11:10~12:00	自立支援の枠組み	発達障害の理解と支援の手だて	事例検討③
13:00~15:00	事例検討①(ひきこもり)	事例検討②(発達障害)	事例検討④

○対象 子ども・若者支援関係団体・機関職員・スタッフ

○参加費用 無料

○定員 15名程度

○講師 生田周二 (奈良教育大学  
次世代教員養成センター 教授)  
櫻井恵子 (奈良教育大学次世代教員養成センター研究部員)  
(奈良県教育委員会スクールカウンセラー)  
櫻井裕子 (奈良女子大学 博士研究員)  
(奈良県・奈良市教育委員会  
スクールカウンセラー)

## 研修会の申し込み方法

下記の方法でお申し込み下さい。

### ☆ FAX・メール

1. お名前
2. 所属
3. ご住所
4. 電話
5. メールアドレス
6. ご参加について

子ども・若者支援専門職養成研究所 事例検討研修会 ご参加 申し込み

メール: sakurai-keiko@nara-edu.ac.jp FAX: 0742-27-9384

(フリガナ) お名前		所属	
ご住所		電話	
参加	3月28日( ) 3月4日( ) 3月25日( )	mail	@